

工程	材料	調合(重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	可使時間(23℃)
1.素地調整	<p>◀外壁▶①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理してください。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。</p> <p>◀屋根▶①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に取り除いてください。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いてください。洗浄後は十分に乾燥してください。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃してください。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去してください。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工してください。</p>							
2.下塗り	下塗材・下地調整材(アンダーコーティングシリーズ)は、部位や基材に適した材料を選定し、各製品仕様をご確認の上、施工してください。							
3.中塗り	セラベース [水性タイプ] 清水	15kg 0~5%	0.12~0.16 (kg/m <sup>2</sup> /回)	93~125 (m <sup>2</sup> /缶/回)	刷毛 中毛ローラー	1回	4時間以上	—
4.上塗り	<p>適用上塗材:タテイルアクア、タテイルフロン、ウルトラフッ素、ウルトラMUKI、他</p> <p>※その他上塗材の適合に関しては弊社営業までお問合せください。 ※施工に際しては上記製品の各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。</p>							

### ●セラベース[水性タイプ]

(水性1液反応硬化形高耐候万能中塗りコート)

#### ■荷姿

15kg/缶  
4kg/缶

#### ■色

プレマテックス標準色  
屋根用耐候性強化色  
日塗工色 他

#### ■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板  
窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン  
波形スレート・カラーベスト・厚形スレート瓦・等

## 注意事項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・色調や希釈によってセラベース[水性タイプ]の隠ぺい性が明らかに不十分である場合は、上塗材の施工前にセラベース[水性タイプ]の塗り重ねを検討してください。
- ・セラベース[水性タイプ]、上塗材ともに十分な塗布量と膜厚を確保することでその性能が発揮されます。ローラーは毛丈13mm以上の中毛ローラーをご使用ください。
- ・セラベース[水性タイプ]は中塗り材です。必ず水性上塗材で仕上げてください。
- ・シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染・密着不良・又は塗膜に割れが発生することがありますので重ね適合性を十分確認の上、施工してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けてください。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

工程	材料	調合(重量)	所要量	塗布面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)	可使時間(23℃)
1.素地調整	<p>《外壁》①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理してください。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。</p> <p>《屋根》①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に取り除いてください。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いてください。洗浄後は十分に乾燥してください。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃してください。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去してください。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がり不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工してください。</p>							
2.下塗り	下塗材・下地調整材(アンダーコーティングシリーズ)は、部位や基材に適した材料を選定し、各製品仕様をご確認の上、施工してください。							
3.中塗り	セラベース [油性タイプ] 主剤	13kg	0.12~0.16 (kg/m <sup>2</sup> /回)	93~125 (m <sup>2</sup> /セット/回)	刷毛 中毛ローラー	1回	3時間以上 7日以内	5時間以内
	硬化剤	2kg						
	PXシンナー	0~3%						
4.上塗り	<p>適用上塗材: タテイル、タテイル2、タテイルαプレミアムエディション、ケイセラII、エクストラカラー、フレックスカラー他 プレマテックス油性上塗材全般</p> <p>※その他上塗材の適合に関しては弊社営業までお問合せください。 ※施工に際しては上記製品の各標準施工仕様をご確認の上、施工してください。</p>							

### ●セラベース[油性タイプ]

(油性2液弱溶剤反応硬化形高耐候万能中塗りコート)

#### ■荷姿

15kgセット 主 剤: 13kg  
硬化剤: 2kg  
3kgセット 主 剤: 2.6kg  
硬化剤: 0.4kg

#### ■色

プレマテックス標準色  
屋根用耐候性強化色(S)  
日塗工色 他

#### ■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板  
窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン  
波形スレート・カラーベスト・厚形スレート瓦・等



## 注 意 事 項

- ・塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- ・色調や希釈によってセラベース[油性タイプ]の隠ぺい性が明らかに不十分である場合は、上塗材の施工前にセラベース[油性タイプ]の塗り重ねを検討してください。
- ・セラベース[油性タイプ]、上塗材ともに十分な塗布量と膜厚を確保することでその性能が発揮されます。ローラーは毛丈13mm以上の中毛ローラーをご使用ください。
- ・セラベース[油性タイプ]は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- ・セラベース[油性タイプ]は中塗り材です。必ず上塗材で仕上げてください。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置してください。
- ・シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染・密着不良・又は塗膜に割れが発生することがありますので重ね適合性を十分確認の上、施工してください。
- ・セラベース[油性タイプ]は、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。